

新屋塩汁
あらや小唄
コハクの水に
にても肴は
生きている
青いさしびろ
貝焼なべ


No. 20 号

昭和43年

1月15日

あ ら や 衆 報

編集と発行 新屋振興会長 穂積 惇 印刷所 横山印刷所 ③ 2442

あけまして
おめでとう




新屋のゆく伸び

新年のごあいさつ

新屋振興会長

穂積 惇

新屋町の皆さん、あけましておめでとうございませう。昨年は選挙の年といつてもよかったです。皆さんの燃えあがるような郷土愛によって、私たちの住む西部地区から前回の私にかわって、大門逸郎君を県会にだすことができました。また、富岡、東海林両君に加えて、辻永君と三人の市議員も当選することができました。浜田地区からは大門君のかわりに塚田

いま、私の一番苦慮していることは、いかにして地域住民の声をくみとるかという点であります。振興会はこの承知のごとく、町内会、部落会の長が評議員を構成し、これらの人々によって選ばれる理事者で成りたっています。従って、地域の要求や要望は町内会長、部落会長等とお話ししか振興会に持ちこたれない。私としては更に一步をすすめて、直接住民のナマの意見を聞きたい、そのための機会を積極的につくりたいと考えています。

画期的な年

昭和四十三年

秋田市長 川口大助

史上空前の豊作、市民所得の向上、そして市勢のめざましい発展と明るい話題で明けたる昭和四十三年を迎え、新屋地区のみならず、新年のごあいさつを申し上げます。

私は昭和三十四年、みなさんの力強い激励と支援のもとに市長に就任し、以来今日まで立ち遅れた市の行政の建て直しと市勢発展のために専念してまいりました。

そのめざすところは、豊かで住みよい福祉社会であり、市民がより安全に、より健康、便利、快適な都市づくりであります。

幸いに、二十三年市民の市政に対する理解と協力のもとに「秋田市の将来展望」の路線に沿って、生活環境の整備、教育の充実、産業基盤の造成を重点として諸施策を進め、今や行政の充実ももとより、市勢は飛躍的に進展し、活気に満ちあふれた近代都市秋田市が実現しつつあります。



……みくら橋の永久橋完成……
老朽のため長い間車輛制限をしてみなさんにご不便をおかけして、11月に完成し、モダンな永久橋となりました。

正

賀

東北バルブ(株) 秋田工場 常務取締役 龍山 萬丈 秋田工場長	秋田市西部議員団 会長 大門 逸郎 副会長 山岡 惣市郎 幹事長 辻永 剛一 富岡 徳次郎 東海林 憲次 佐藤 権兵衛 塚田 一郎 穂積 惇 佐藤 敬太郎	新屋振興会 会長 穂積 惇 副会長 佐藤 芳太郎 理事 川口 和夫 赤沼 辰夫 阿部 肇 大門 健司 大渡 純二 渡辺 純 小室 定治 玉野 勇 高橋 淳市 佐々木 興太郎	秋田市西部振興連絡協議会 会長 穂積 惇 外 同
---------------------------------------	--	--	--------------------------------

昭和四十三年を迎えて

東北パルプ株式会社
常務取締役秋田工場長 龍山萬丈



新年お芽出度う御座います。この数年間、新屋町が飛躍的な発展を続け、市並に地元の熱意により各種施設は充実し、新築家は軒をたらし、秋田文化都市の名にふさわしい発展をしております。事には真に御同慶に堪えぬ所であり、私共は本年も益々新屋町が一層活発に伸びてゆく事を念じてやまないであります。

既に御承知の様に東北パルプは十條製紙と合併し、四月から新社名のもとに発する事になっております。十條製紙は東北パルプ同様、戦後王子製紙の解体により生れた会社であり、今回いわば離れていた兄弟が集って新会社となった事であり、



— 東北パルプ(株)秋田工場全景 —

これにより新会社(社名は近く決まる)は紙パルプの生産者としては国内第一位となり、工場の数も秋田、石巻、十條、伏木、都島、八代の七地区となり、北は北海道から南は九州に及ぶ大きなものとなります。秋田工場は従来通りレイヨンパルプを生産し、益々規模を増大し、前進に前進を続けてゆきます。たゞ一つ淋しいのは皆様に親しんで頂いた、東北パルプの名称が四月からなくなってしまう事です。新会社の内容的ではありますが、工場の内容的には少しも変わる所はありません。

ただいま当工場ではかなり大きな増設工事を行っております。これは同業者である東洋紡績の大山工場が近くパルプ製造、化成製品製造をやめて他に転換する事になりましたので、之を全面的に当工場が肩替り生産をする事になったからであります。化成品とは酢母から各種の誘導体、その他であり、此の製造施設を一切当工場に移設して、春と共に増産する事になっております。建設当時の年間レイヨンパルプ生産高三万屯で、発足した当工場がこの四月からは年間一三万屯の生産へと発展しようとしております。

新屋町の目覚ましい発展振りと共に秋田工場に於きましても着々内容の充実と生産の向上に飛躍的に伸びようとしております。

貿易の自由化、資本の自由化が喧しくなってきたり、狭くなった世界に於ける国際競争力に打ち勝つ製品を作らねばならぬ、はなはた厳しき状況であります。

あらゆる物価が上昇の一途を辿る時、また、かつては木材の宝庫と言われた東北地方の原木資源も次第に減少してゆく、折柄当社に於ては遠くボルネオ・カナダ方面に原木確保のため積極的になり出し、新会社の足と共に之等はやがて具体化してゆくものと存じます。

この様に秋田工場にとっても昭和四十三年は大きな転機であり、飛躍発展へのスタートとなるのであります。

本年もよろしく地元の皆御鞭撻を賜ります様御願ひ、様方から旧に倍した御支援、申し上げます。

栄えの秋田市文化章を

笑顔で受ける

佐藤 佐七氏



高品位の秋田産産しよつに励む情熱があつてこそ、つるが、独特の味覚と優秀な思想が、全国的に有名となつた。皆さんとともに心から祝い申しあげます。

二代目佐藤佐七氏

四十三年の抱負

県会議員 大門逸郎

新年あけましておめでと。過ぎ去つた昨年は、選挙に明け暮れた一年でありましたが、地方選挙でも川口市長の圧倒的勝利のほかに、市会議員の選挙でも多数の当選をみて大きな成果を取ることが出来ました。

今や新屋を中心とした西部地区の政治的力は高く評価されるに至つております。

とくに県議選では、西部地区では是非一つの選挙を確保しようという意識と厚意に包まれて当選に導かれた。この場合、(自信がなかつた私に)新たな使命感と責任を痛感いたしました。更めて心から御礼申し上げる次第であります。

選挙後の七ヶ月余の昨年、早く多くの期待感に添ひたい一念で奔走したものの、新産都市との関連を引合にだすまでもなく、私共の住む西部地区の都市的使命は、安心して快適な生活の出来る住宅地区として発



交通安全の願いをこめて!!

激増する交通事故未然防止の希いをこめて、昨年暮新屋地区国道七号線にはじめて交通信号灯と、安全歩道ができました。又今年には西中前にロード、ヒーター付横断橋が架橋されるとの朗報もあり、今年こそ交通事故が発生しないようお互い気をつけましょう。

▲新屋地区始めての交通信号灯
完成した安全歩道 (国道)



一般建築材料・ベニヤ板卸小売

杉山田材木店

わた・ふとん・貸ふとん

建 栄 衣 共 店

TEL 5259

神経痛・リニューマチに特効のある

喜 龍 閣

強首温泉

秋田連絡所 秋 田 ⑤ 2 5 9

新屋表町

電(2)五二〇七

純金入りデラックス清酒

健康美容を促進する殿方ご婦人むき美酒

御贈答 No.1

黄金井

がね

新屋元町

電(2)五二一七

群を抜くうまい酒

品質本位

電(3)三一九〇七

七九六二

内科・小児科・レントゲン科

川 口 医 院

院長 川 口 新 助

新屋元町新屋郵便局向い

TEL (3) 2 5 3 5

年頭のあいさつ

富岡 徳次郎
東海林 憲次
辻 永 剛 一

新屋町のみなさん、新年ありますので本年もなお一
おめでとございます。
私ども昨年中は一方ならぬご高配にあぶかり誠に有
りがとうございました。心
から厚くお礼申しあげま
す。
市会議員として大きな見
地から、その責務を全とう
考え方、意見等について三
者三様それぞれ個人的に書
くべきでない云々のが三
力して地域発展のため、誠
共同の記事としましたこと
心誠意頑張ってゆく所存で
をこ了承ねがいます。



— 12, 13 行つた陳情団 —

市政等については今後何
等かの方法(議会報告のよ
うなもの)で報告いたし
たいと考えておりますので
省略します。
現時点における新屋町の
懸案事項(土木関係を除
く)について述べますと
一、新屋支所の移転新築
一、西中学校と豊岩中学校
の統合による新校舎の建
設それに伴う北部地区に
小学校建設、また現小学
校の西中学校への移転に
ついて
一、西部地区公民館建設に
ついて
一、図書館の建設について
一、子供の国を西部地区に
誘致について
以上大きな諸問題が山積
りしておりますが私ども町
の与論を聞きながら協力し
ておりますことを報告し、
みな様方のご協力をおねが
いするとともにご意見等が
ございましてお聞かせく
ださるようおねがい申しあ
げます。
新屋振興会、新屋町町内
連合会は新屋町発展のため
大きな役割を持っている団
体であり、特に振興会は対
外的に新屋町を代表する公
的団体でありますので対外
的にも信頼ある団体として
より一そうのご発展を切望
して私共の新年のご挨拶と
いたします。
おわりにのぞみ、みな様
方のご健勝とご隆昌をお折
り申し上げます。

振興会のあゆみ

- 一月十日
あらかず報新年号発行
一月十八日
県、市に対して、土木教
育、民生関係、二十九項
目について要望書を提出
した。
四月十日
定例総会を開く
昭和四十一年度決算承
認および四十二年度事業
計画ならびに予算の審議
を行った。
一、北部地区選出の理事に
玉野勇氏決る
市道大川端線舗装工事に
伴う寄付採納願いを提出
した
六月二十八日
地元出身市議員を交え、
臨時総会を開き「新屋地
区の現況と将来の展望に
ついて」の話題交換を行
った。
六月三十日
「のぼこ山農道拡幅につ
いて」関係者(土地所有
者)と今後のあり方につ
いて検討す。
六月
市道西四丁目小路線舗装
工事に伴う寄付採納願い
を提出した。
七月
市道大道線舗装工事に伴
う寄付採納願いを提出し
た。
七月十日
小、中学校PTAの校外
指導員および商工会幹部
で、「表町線の片側一部
駐車禁止解除について」
の検討す。
七月十日
市道高九小路線舗装工事
に伴う寄付採納願いを提
出した
八月八日
県道新屋土崎港線(新屋
割山地域)の交通緩和を
計るため大型車輛の通行
制限について、
県公安委員会ならびに秋
田警察署に単行陳情を行
った
八月
市道下夕野小路線舗装工
事に伴う寄付採納願いを
提出した
八月十五日
新屋衆報の夏期号刊行
八月二十日
市道森川小路舗装工事に
伴う寄付採納願いを提出
した
九月
市道勝平表町舗装工事に
伴う寄付採納願いを提出
した
九月二十五日
各町内会長(評議員)あ
らびに昭和四十三年度中に実施
を要する土木工事、その
他希望ヶ所の調査取りま
とめを行った。
十月二十日
理事会を開き、前記要望
事項について審議す
十月二十一日
市道善助小路線舗装工事
に伴う寄付採納願いを提
出した
十二月十三日
県、市に対して昭和四十
三年度分の陳情を別項の
とおり行った。
市への陳情事項
要望事項(新屋地区)
土木関係(維持)
一、大道線の先き駅前まで
の舗装(国道七号線より
新屋駅まで)
二、日新小学校正門小路と
裏門小路の舗装
三、大川町の東一条、同二
条および前町線ならび
に区画整理道路の舗装
四、西一条線の舗装延長
(下水道布設ヶ所まで)
五、西二条線の舗装
六、山田小路線の舗装
七、川金小路線の舗装
八、中川原地区の全面舗装
九、善助小路より区画整理
団地間の舗装
十、緑町愛宕町線の舗装
(栗田神社入口十字路よ
り雄物川堤防および三又
路)
十一、浜街道線(栗田神社
より養護学校間の舗装)
十二、大川反地区および中
川原地区の区画整理道路
の未認定ヶ所の早期市道
認定
十三、北部地区の私道を市
道に編入
(改良)
一、勝平一丁目小路線にU
型側溝新設
二、勝平二丁目小路線にU
型側溝新設
三、勝平三丁目小路線にU
型側溝新設
四、浜田街道線の拡巾(昭
和四十二年実施ヶ所より
中村入口間)
五、西三丁目小路に下水道
布設なきときはU型側溝
新設
六、軌道跡の市道改良
七、大川端線の永久橋かけ
替え
八、桜橋の永久橋かけ替え
九、緑町愛宕町線の側溝全
面改良(栗田神社入口十
三路より表町県道(三角
屋間)接点
(失対)
一、中川原地区にL型側溝
設置
二、西二条線と西三丁目小
路の交差点における側溝
の改良
三、山田小路線にL型側溝
設置
四、東三条線(大川町)の
側溝設置
五、大道線にL型側溝の新
設(新屋駅より国道間)
六、大川端地区(国立倉庫
周辺)下水道布設ヶ所に
L型側溝の新設
七、浜田街道線よりバルブ
クラブ間にU型側溝の新
設
(下水道)
一、大川端線に(大川端橋
より西方)西二条線と交
差する地点まで下水道設
置
二、大川端地区に継続して
下水道設置
三、西二条線(昭和三十九
年度下水道設置)に下水
道設置
四、西一条線(昭和三十九
年度下水道設置)より大
川端線に交差するまで下
水道設置
五、北部地区に年次計画で
下水道設置
六、県道大平療育園入口よ
り新屋日吉町横辰商店間
に下水道の設置
七、西三丁目小路に下水道
設置
八、第一保育所前に下水道
設置
九、西二丁目小路(稲荷小
路)に下水道の設置
十、大川端線(大川端橋よ
り県道接点間)に下水道
の設置
(教育関係)
一、西中学校に豊岩中学校
統合と永久校舎新築につ
いて
二、日新小学校の全面改築
について
三、北部地区に小学校新築
について
(その他)
一、浜田街道線に消火栓設
置について
二、北部地区に消火栓設置
について

- 三、新屋西線(中野)
四、新屋公民館の設置に
ついて
五、新屋支所の新
設について
六、新屋浜のし尿投棄中止
について
県への陳情事項
要望事項(新屋地区)
一、県道、割山地区の拡巾
について
二、大平療育園の下にあ
る、バルブ社宅に側溝新
設について
三、県道、割山地区速度制
限および標示、ならびに
冬期間大型ダンプの通行
禁止について
四、県道、種平新屋停車場
線にL型側溝の設置(新
屋駅前より国道七号線ま
で)について
五、国道七号線(西中学校
前)に歩道橋新設につい
て
六、新屋北部地区林道(空
港線より警察学校に至る
間)の側溝新設と道路の
舗装
七、北部地区県道側溝の
末を市下水道と接続方
について
八、北部地区県有林の松
心喰虫の完全防除とその
後の補植方について
九、秋田都市計画による国
鉄新屋駅構内の立体交差
道の早期着工について
※ 単行陳情分
一、雄物新橋狭幅部の早期
架替え方について
二、県道新屋土崎港線(新
屋元町より表町間)の側
溝全面改良方について
三、都市計画道路新屋十軒
町線の早期着工について
四、秋田市西部地区に住宅
団地造成促進について



○ 県道割山地区の道路 ○

町内めぐり

(6) 私たちの町

愛宕町

私達の居住する愛宕町は、住居表示によって、日吉町、表町、扇町、の一部となりましたが、新屋町南部地区としては、比較的大きな地域を占めております。

現在の世帯数は、二百六十世帯であり、町内としては変動の少ない、旧いものをもとめて、いわれられている地域であります。

しかし近年において、浜田に通ずる上の坂の全面舗装をはじめ、上水道、ガスを完備し、漸次文化的な明るい街に生まれ変わりつつあります。

町内の特色として、青少年の健全なる育成を計るため、町内会を主体とした野球大会、水泳大会、スキー大会などの青少年活動が盛んに行なわれており、又青年相互の親睦をつつめるための集いを催しております。

また第一に、全町民の守護神である日吉神社は、今から千百年前、新屋町発祥の地といわれた勝平山に鎮座し、時代の変遷に伴い八百年前現在地に奉遷されたこととあります。

そして全町民が産土ウズ

スナ神として仰ぎ祈り、喜びにつけ、悲しみにつけ、鎮守に足をはこび生きつづけてきたのであります。

「日吉神社」は全町民の心のふるさとであるとも云えましょう。

つぎに上の坂の登り口に建立されている地蔵堂は、足利時代(約五百年前)のものであり、堂内には等身大より一まわり大きな立派な石仏が安置され、天変地異の災難があるときは、石仏の肌が全身汗ばんで予告すると云い伝えられております。

地蔵堂は現在も信仰する人々で、灯明が断える日がありません。

第三番目は、私達の町内には流れ井戸が多く、最適の飲料水がどこでも得られることです。夏は冷く、冬は暖かいこの地下水は、町内の人々の家庭用水として、上水道が完備した現在も、なお愛飲されております。

四番目は、愛宕町三吉神社についてであります。上の坂の裏山に鎮座するこの神社は、明治初年附近の有

現在はお堂も増改築され信仰者によってにぎわっております。

さて最後に、町内発展の今後の課題として、私がいとも念頭においている事を列記してみたいと思っております。

一、愛宕山(裏山)の砂丘地開発

二、裏山に通ずる農道の拡

三、青少年育成の強化

四、町内安全対策(交通安全)

五、困窮家庭に対する補助

六、明るい、住みよい町内づくりについての話し合い

七、集会場の設置

等今後多くの問題がありますが、他町内の貴重な経験をお教示いただいて、町内発展のために一層努力すべく心を新たにしております。

中野丹十郎記

郷土新屋から 初の国会議員誕生か!!

本年、夏の参議院議員選挙に、社会党から立候補を噂されている。長谷川欣之輔氏が話題の主、長谷川氏は日新小学校の卒業生で恩師は田村猪之助先生、当時の校長は畠山先生、同級生には仙葉、磯崎、辻永、加藤正太郎、大門耕司等の諸君がいる。

内藤良平氏のとをうけて県労働運動の最高峰といわれたところだが、現在は割山船場町に住み、根っから新屋人として、人柄のよさで労働者、農民、市民大衆の評判はよいという。

もし当選するようになれば、郷土新屋として、初の郷土出身議員誕生はたかまつて、地元に関心つづいて国会まで、地元代表をだせるかどうか楽しみの一とつた。



!!急がれる 雄物新橋の 狭部架替え!!



発展する 公営住宅群 この五年間で、栗田町の丘に、一九八戸の県営住宅ができあがった。今年も三六戸建設の予定である。

お気軽に 団体貸出文庫のご利用を

新屋図書館では職場や町内グループの団体貸出文庫のご利用をおすすめしております。

この文庫は五人以上がまとまって申し込みすると一ヶ月間五十冊までを貸出する仕組になっております。

個人貸出しと違い期間も長く多くの図書を利用できるので大変便利です。手続は簡単ですからお気軽にお越しください。

図書館は西中学校正門左側です。毎月新しい図書を導入しております。特に雑誌は婦人公論、ミセス、主婦の友等七種で婦人向が多く一般では中央公論、文春、人生手帳、歴史読本、アサヒカミメ等を購入しております。雑誌も貸出ししております。図書館の利用は一切無料です。

平日は午後七時三十分、土、日は午後四時三十分閉館です。月曜は休館日です。

電話 三〇二六九番



新屋婦人会の 歳末助けあい運動

ことしの募金総額……

一、金七万七千八百九拾円

二、金六万五千九拾円

三、金六千八百九拾円

四、金六千八百九拾円

五、金六千八百九拾円

六、金六千八百九拾円

七、金六千八百九拾円

八、金六千八百九拾円

九、金六千八百九拾円

十、金六千八百九拾円

十一、金六千八百九拾円

十二、金六千八百九拾円

十三、金六千八百九拾円

十四、金六千八百九拾円

十五、金六千八百九拾円

十六、金六千八百九拾円

十七、金六千八百九拾円

十八、金六千八百九拾円

十九、金六千八百九拾円

二十、金六千八百九拾円

二十一年、金六千八百九拾円

二十二年、金六千八百九拾円

二十三年、金六千八百九拾円

二十四、金六千八百九拾円

二十五、金六千八百九拾円

二十六、金六千八百九拾円

二十七、金六千八百九拾円

二十八、金六千八百九拾円

二十九、金六千八百九拾円

三十、金六千八百九拾円

三十一、金六千八百九拾円

三十二、金六千八百九拾円

三十三、金六千八百九拾円

三十四、金六千八百九拾円

三十五、金六千八百九拾円

三十六、金六千八百九拾円

三十七、金六千八百九拾円

三十八、金六千八百九拾円

三十九、金六千八百九拾円

四十、金六千八百九拾円

四十一、金六千八百九拾円

四十二、金六千八百九拾円

四十三、金六千八百九拾円

四十四、金六千八百九拾円

四十五、金六千八百九拾円

四十六、金六千八百九拾円

四十七、金六千八百九拾円

四十八、金六千八百九拾円

四十九、金六千八百九拾円

五十、金六千八百九拾円

五十一、金六千八百九拾円

五十二、金六千八百九拾円

五十三、金六千八百九拾円

五十四、金六千八百九拾円

五十五、金六千八百九拾円

五十六、金六千八百九拾円

五十七、金六千八百九拾円

五十八、金六千八百九拾円

五十九、金六千八百九拾円

六十、金六千八百九拾円

六十一、金六千八百九拾円

六十二、金六千八百九拾円

六十三、金六千八百九拾円

六十四、金六千八百九拾円

六十五、金六千八百九拾円

六十六、金六千八百九拾円

六十七、金六千八百九拾円

六十八、金六千八百九拾円

六十九、金六千八百九拾円

七十、金六千八百九拾円

七十一、金六千八百九拾円

七十二、金六千八百九拾円

七十三、金六千八百九拾円

七十四、金六千八百九拾円

七十五、金六千八百九拾円

七十六、金六千八百九拾円

七十七、金六千八百九拾円

七十八、金六千八百九拾円

七十九、金六千八百九拾円

八十、金六千八百九拾円

八十一、金六千八百九拾円

八十二、金六千八百九拾円

八十三、金六千八百九拾円

八十四、金六千八百九拾円

八十五、金六千八百九拾円

八十六、金六千八百九拾円

八十七、金六千八百九拾円

八十八、金六千八百九拾円

八十九、金六千八百九拾円

九十、金六千八百九拾円

九十一、金六千八百九拾円

九十二、金六千八百九拾円

九十三、金六千八百九拾円

九十四、金六千八百九拾円

九十五、金六千八百九拾円

九十六、金六千八百九拾円

九十七、金六千八百九拾円

九十八、金六千八百九拾円

九十九、金六千八百九拾円

百、金六千八百九拾円



進む町の上、下水道工事

新屋町の公衆衛生の向上をはかるため、年次計画で公共上、下水道が布設され、新屋は住宅街として発展している。



この五年間で、栗田町の丘に、一九八戸の県営住宅ができあがった。今年も三六戸建設の予定である。

給排水、衛生、暖房 設計 施工

渡辺施設工業株式会社

取締役社長 渡辺 純 二

新屋大川町18-1 TEL①1871

新屋大川町18-1 TEL②5342

茨島東北肥料構内 TEL③3445

仕出しは 錦 吉 稲 荷

TEL (2) 5 3 7 9

割 烹

TEL (2) 5 2 3 2

結 婚 式 場 に

工 藤 旅 館

TEL (2) 5 2 2 1